

平成22年6月4日

報 告 書

島田市議会議長 富澤保宏 様

島田市議会議員 溝下一夫  
島田市議会議員 村田千鶴子  
島田市議会議員 大石節雄  
島田市議会議員 佐野義晴  
島田市議会議員 河原崎聖  
島田市議会議員 松本敏  
島田市議会議員 仲田裕子

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

1 日時 平成22年 5月23日（日）

午後7時00分から 午後9時00分まで

2 会場 コミュニティサロン金谷北多目的ホール

3 役割

- (1) 受付… 村田千鶴子・仲田裕子
- (2) 司会… 佐野義晴
- (3) 挨拶・概要説明… 溝下一夫
- (4) 報告… 総務消防：大石節雄 民生病院教育：村田千鶴子  
経済建設文化：河原崎聖
- (5) 答弁… 全議員
- (6) 記録… 仲田裕子

#### 4 報告事項

##### (1) 議会の活動の動向の市民への報告について

総務消防常任委員会報告：大石節雄議員

- ① 電波遮へい対策事業補助金（17施設川根地区です。）
- ② eコミュニティしまだ推進事業。（委託料おもに人件費）
- ③ FM放送活用事業。（賃借料・番組制作料・保守委託料）
- ④ 空港周辺プロジェクト推進事業。（用地取得料）
- ⑤ 常備消防本部費。（新職員被服費消防学校研修費）
- ⑥ 歳入、航空燃料譲与税。（島田市25.7%・牧之原市74.3%）
- ⑦ 市職員の自己啓発等休業に関する条例。
- ⑧ 市議会議員の期末手当の条例を改正。（1ヶ月未満は日割り計算とする。）

民生病院教育常任委員会：村田千鶴子議員

- ① 金谷斎場の防水工事
- ② 金谷中学校の渡り廊下の防水工事
- ③ 金谷公民館の外壁工事
- ④ 新規事業「保育ママ運営事業」
- ⑤ 子ども手当
- ⑥ 児童手当（平成21年度2月3月分を6月に支払い終了）
- ⑦ 子ども医療費助成
- ⑧ 小・中学校給茶機設置事業（六合小・第二中）
- ⑨ 後期高齢者の人間ドック復活
- ⑩ 介護保険事業特別会計予算
- ⑪ 病院事業会計予算
- ⑫ 博物館の観覧料が小中学生無料の条例改正
- ⑬ 市立島田市民病院看護師の助産婦免許の取得に対する修学資金条例

経済建設文化常任委員会：河原崎聖議員

- ① エコマイハウス支援事業（16軒分）
- ② T・GAP取得助成金（一級のみ）
- ③ 農業経営複合化支援事業
- ④ 木材利用促進事業（70軒）
- ⑤ 田代の里管理運営費
- ⑥ 中心市街地優良建築物等整備事業
- ⑦ 島田市仏教協会より陳情（市営霊園建設反対）

質 問：エコマイハウス支援事業の予算がもう無くなったことは、環境と言いながらが時代に逆行しているのではないか今後の補正はどうか？

- 回 答：昨年までは市単独予算で近隣の市町に比べて島田市は一番進んでいたが、今回大幅に削られ国からくる補助金だけになってしまった。委員会の中でも国の補助と市単独を合わせて補助すべきと多くの議員が議論したが、補正はしないとのことでした。これからも要望をしていきたいと考えます。
- 質 問：多目的産業展示施設の件は箱もの行政と言わざるを得ない、地元ではいろいろな噂が流れ、何が本当なのか分からない、市長は昨年6月に市の将来の命運を握っているとの発言があり、また地元における市長と語る会では合併特例債を使ってもとのことだが、今の時代に施設を建てるより福祉などを充実させた方が良くと思う。
- 回 答：平成21年度予算、5億6千万だったが、0.9ha分の土地の購入と保証分が平成22年度にずれ込んだ分の予算1億400万円です。  
この件は、市長と前石川知事との合同記者会見が平成20年9月に行われ、県が展示施設を建設するにあたり市が土地を購入し協力して多目的産業展示施設を建設する計画でしたが、現在知事が変わり川勝知事は、ガーデンシティーにしたい、ガーデンパーク構想を発言している。議員から市は県と歩調を合わせて調整しているのかの質問に、「市としては、県のほうへ具体的にどうなるのか何度も聞いている」とのことでした。
- 回 答：市として誘致したとの考えで進めているが、今どこのメッセも運営に苦勞している現状を見れば、無謀な計画だと思っている。
- 質 問：eコミュニティはまだ推進事業の内容がはっきりしない。
- 回 答：ふるさと雇用再生事業として国からの予算を活用してホームページの活用体制を強化させ、もう少し充実させるための委託料おもに人件費です。
- 質 問：FM放送活用事業に対する行政広告料が増加しているがいつまで市が補助していくのか。
- 回 答：委員会においても、費用対効果等の議論はあった。議会だよりでも議会の放送したい行政枠を利用していろいろな媒体を使って視覚障害の方に対しても音声で伝える、また防災面など、FMの価値については市としても重要性を持っている、委員会としては民間会社に対して永遠に補助していくことへの議論は多く出されました。

## (2) 意見及び情報の交換について

- 質 問：多目的産業展示施設の件、地元での市長と語る会で、「知事がやらなければ市単独でやる、50億くらいかかるが、いろいろな補助金や合併特例債をつかえば市はそんなに負担はない。」と発言したが、各地のメッセにおいて赤字が多いのになぜ島田市はメッセを建設するのか市長に質問した。「怖がっているは何もできないそれをやるのか政治家だ。」というような発言をしました。また、議会傍聴したときも「各検討委員会で検討しても、最終的には市長の権限できめる。」と発言していた、暴走発言だと思う。市民は、明日の生活も不安なのに箱ものばか

り計画したのでは将来大丈夫なのか疑問である。福祉など市民に密着したことを考えてほしい。

司 会 者：グランドデザインを完成したのち将来の展望を諮って、個々の問題を従事したことをやってほしいということになります。議会の中で議論することですが、議員として意見がある方。

回 答：私は、賛成の立場です。空港も開港されました。空港の活用促進を考えたとき、川勝知事の志太榛原地域をティーガーデンパーク構想の中で多機能による交流圏域にとらえているので選択肢が増えたことは、川根筋にも入り込んでもらいたい活性化につながる可能性にたいして期待をすることで賛成します。旧金中跡地は活用しなくては損のように思う。ショッピングビルに対しても莫大な投資ですが、まちは整備したが人通りがない、シャッター通りになっているまちに人通りを取り戻そうと言う中のビルだと思う。とにかく長い不況ですがどこかで仕掛けをして活性化につなげる夢を持ってポジティブに考えたい。

質 問：グランドデザインを決めるなら、住民が安心出来る孫の代までそういうことなら、苦勞して税金を出してもやむを得ないと思える計画を、夢のようなことではなく、きちんと目にみえる形で計画してほしい。

質 問：ポジティブならいいのですが、ショッピングビルにかんしては、降ってわいたような思いつきでしょう。そのようなビルに公共施設を持ってきてどれだけ市民のコンセンサスを得られるか疑問です。この計画を遂行したとき、はたしてどうなのか、藤枝市のビビのようにならなければ良いが、ビビは1階のショッピングが撤退し、2階の2軒のテナントが撤退している。このことから、はたして島田市の活性化になるか疑問です。将来的ビジョンを描いているのか極めてずさんな計画と思っています。

回 答：多目的施設もショッピングセンターも空港も行政の考えることは同じ土俵の中で考えていると思う。活性化させようという思いが土台にあるが、今そういう考えから転換する時期だと考える。日本の人口、島田市もそうですがこの先増えることはありません、確実に減っていく方向なのに、お金をつぎ込んで活性化させようとしても無理です。無駄なお金を使うべきではないという意見です。

質 問：投票所の統合、おもに川根地区ですが、問題はないのか。

回 答：本音で言えば、少しでも近くにあった方が良いに決まっていますが、合併の中で行政改革の一環として、人口が少ない中で、立ち会人を選ばなければならない、自治会が大変なおもいをしている現状もあります。

回 答：投票所によっては、全員来ても100人たらずで、朝7時から始まって約1時間たらずでほとんどみんな投票を済ませてしまう。来られない人の理由も分かっている、あと夕方6時まで詰めている人は大変なおもいでいます。行政改革の中で経費削減の意味においても自治会にも説明してあり、自治会の中で方向を出したので結果を尊重したい。

質 問：金谷駅のバリアフリー化は、どうなっているのか。

回 答：合併したとき市長の公約の中に、金谷駅のバリアフリー化を約束してあるが今も

って実現しない。以前一般質問したとき、「国からの補助金の条件一日5000人以上の搭乗者があること、高低差が5メートル以上あることが満たされていないため、なにか別の補助金があるか、また国の条件が緩和されるかを模索している。」との当局側の答弁でしたが、市長も「公約は忘れてはいない、なんとかしたい。」とっています。個人的に思うのは、補助金を探すより、市単独で合併特例債を利用しても、市民のためにやるべきと思うのでこれからも提案し要望していくつもりです。

回 答：川根地区においても、大井川鉄道もあるのでぜひやってもらいたいと思います。市民で要望を出すことも実現出来る早道かと思う。あきらめずに出来るまで毎年要望していきます。

質 問：田代伊太温泉の水位が下がったこと、毎日川根温泉から運ぶなど残念でならないがなんとかならないのか、見通しはどうか。

回 答：今年1月5日におかしいと気づき、3月5日にくみ上げが止まった。そのため今後は混合温泉にするとのこと。風評被害ではないが利用者が減りました。正常に出るのを願うだけです。

司 会 者：女性が2名いるので女性の立場でどうですか。

質 問：私は、市歌制定委員の副委員長をしました。当委員会では、新しい市歌を作るとい結論が出されました。村田議員の一般質問を傍聴してびっくりしたのは、制定委員の出した結論がご破算になっていたことです。市長の判断を求めています。制定委員会のだれも、市長に結論を出していただきたいと制定委員のだれも言いませんでした。以前市長が曲だけでもFMしまだで流したいとの発言に、「それは旧島田市歌のことか」との仲田議員の一般質問に対し市長は胸を張って「そうではない、素直な気持ちで制定委員会の結論を素直な気持ちで待つ」と答弁なさいました。制定委員は市歌を作るかどうか結論を出す目的の委員会です。11人の委員のうち9名が新市歌をつくるべきと結論を出し、2名が旧島田市歌を利用するべきとの結論でした。しかし、市長にだす書類は、旧島田市歌を選ぶか、新島田市歌を作るか、フィフティー・フィフティーの内容だったので、私達制定委員全員の意を尽くして出した結論ではないので、書き直してもらった経緯があります。私達はしっかり新市歌を作るべきとの結論を賛成9対反対2で出したのです。制定委員の誰一人として、フィフティー・フィフティーなので市長に結論を出してくれ、困ってしまったなどと頼んだことはありません。私は、市長の答弁等をFMしまだで、ライブで流してもらいたい、文字だと表現が薄れたものになる、嘘の報告にならないようにしてもらいたい。

回 答：合併したとき協議会において、市歌は新しくするとあります。旧島田市は市の名前もそのままなので、何も変わらないと思っているのですが、合併は対等合併です。新市が出来たのですから新しい市なので市歌も当然新しく作ると思っていました。市長もそのために市歌制定委員会を作ったのです。委員の中には旧島田の人もいてその方々も、旧島田市歌は素晴らしく、大好きですが新市になったのだから使うべきではない、との意見が多くあったのです。正論として制定委員

会から出された意見を守ってもらいたいと思っています。

回 答：確かに制定委員会の意見は新しい市歌を作る意見が圧倒的だったと思うが、これから新島田として残していく島田市歌、高田三郎先生の曲を、高田三郎先生の名前を島田市の宝として全国発信して残してもらいたいという思いがあり、合併して市歌がなく、早く市歌を作ってもらいたいとの思いがありいい加減に市長も結論を出してもらいたいとのおもいで行政にたいしてなげかけたものです。

質 問：制定委員会の出した結論を重視したいとの思いで、市長が制定委員会に託したのですから、その結論をまたゼロに戻すことは、制定委員会はなんのための役目だったのでしょうか。制定委員会の意見が認められないのなら、私達制定委員に払った報酬はそれこそ税金の無駄使いではないですか。

司 会 者：市歌をテーマでなげかけた、これは全てに通じることではないかと思う。

質 問：平成21年8月1日号の市長への手紙を拝見して衝撃をうけた。市はいつも市民と協同して良い市をと言いながら、思い切って出した手紙に対して、「短絡的に批判するのではなく、前向きで建設的なご意見ご批判を頂くよう希望します。」と締めくくっていることを悲しく思った。これではもう意見をだしてもしょうがないように思う。意見を出せ出せと良いながら、思い切って意見をだしたことへ「短絡的に批判するのではなく」などとは書いてほしく無かったです。各方面の意見を吸い上げて検討してほしいと思います。どんな意見でも市民の声として「伺っておきます。検討します。」と言ってほしかったです。

司 会 者：市長ではないので何も言えませんが、市長のみならずわれわれ議員も肝に命じていきます。

質 問：体育協会の総会の時、大池県議と市長がトレセンの誘致を川勝知事と絡んでと発表した議員は承知しているか。

司 会 者：正式には、我々議員は報告を受けていません。

質 問：FM しまだの電波利用料は局が払うものです。放送の賃貸料とは違うので電波利用料は国に納めるものなので、2時間の放送の賃借料ではないので表現がおかしいです。

回 答：確認します。

質 問：FM 放送が視聴出来るのは携帯のラジオで入る状態を言うが、大代地域は視聴出来ないが承知しているか。

回 答：大代地区が視聴出来ないことの報告は受けていない。ぜひ自治会から要望を出してもらいたい。

質 問：大代の総代です。カーラジオで入っても、携帯ラジオで入らなければ災害の時役に立たないので、市へ要望を出します。

質 問：消防の広域化について当局から議会に説明はあったのか。

回 答：常任委員会でも、議会全体でも説明はあり議論はしました。藤枝市や焼津市が抜けて問題はないか等の議論をした。

最後の閉め

溝下議員

大変熱心に質疑等おこなっていただき、ありがとうございました。昨年の11月に行つての反省会で議論する中、どうしたら大勢の方に来てもらえるか考え今回6会場に増やしました。今後、女性を・また若い方・テーマを持って・各地域へ入つてなど試行錯誤をしながら続けますので今後も機会がありました参加していただきたいと思ひます。我々議員も皆様の代弁者として頑張つて行きたいと思ひますので、宜しくお願ひします。